

第四中学校・第八中学校統合委員会 要 点 記 録

第 1 3 回

開 催 日 時	令和2年9月29日(火) 午後6時30分～8時15分	
開 催 場 所	鷺宮区民活動センター 3階洋室2号	
出席者	委 員	渡辺勲、伊藤英男、西山篤臣、関根仁美、遠藤久子、 亀山正樹、清家靖浩、杉谷華織、佐久間利彦、下山田智恵、 中田あき子、小林正朋、渡辺直樹、藤田由紀、甚野誠一郎、 大柴文子、大槻麻里、熊谷恵子、竹之内勝、遠藤純子、 河村明彦、永田純一、塚本剛史 (敬称略、名簿順)
	事務局	子ども・教育政策課学校再編・地域連携係
会 議 次 第	【議事】 1 校章の検討について 2 校歌の検討について 3 その他	

第 1 3 回 第四中学校・第八中学校統合委員会 会 議 要 旨

1 開 会

委員長

定刻となったため、これより第13回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

2 報 告

報告(1)校歌の制作者について

委員長

報告(1)校歌の制作者について、事務局の説明を求める。

事務局

校歌制作者の方については、前回の統合委員会でご紹介したとおり、6名の候補者を推薦いただいた。交渉順位については、委員長、副委員長、両校長、事務局に一任いただき、作成期間等を考慮し検討した結果、尾崎亜美氏に内諾をいただいた。

また、校歌の制作にあたり、尾崎氏より新校舎周辺の地域をご覧になりたいという話があったため、先方のスケジュール等を考慮した上で、校歌制作に関する打合せを行いたいと考えている。この打合せの参加者については、委員長、副委員長、両校長、PTA会長、事務局とさせていただきたい。

3 議 事

議事(1)学校指定品の検討状況について

委員長

学校指定品のうち、標準服については標準服検討部会において検討し、体育着については体育指導上の留意点を踏まえ、両校で選定を進めてきた。その検討結果について、標準服検討部会長の第八中学校校長・竹之内委員の報告を求める。

部会長

まず、標準服について説明する。

検討部会の第1回、第2回では標準服の基本コンセプト、仕様を固めた。このコンセプト及び仕様に基づき、標準服デザイン等の募集を行い、メーカー5社から計10案のデザイン画の応募があった。これらのデザイン画について部会員が評価を行うとともに、実際に標準服を着用する両校の1・2年生にアンケートをとった。その結果、部会員と生徒の評価結果がほぼ一致し、3社6案によるプレゼンテーションを実施した。プレゼンテーションの結果、選定された標準服候補は資料1-1の写真のとおりである。

標準服の上衣は、多様性を反映させ、違和感なく着用できるシルエットの男女兼用の濃紺ブレザーを選定した。前合わせの両方にボタンホールがあり、ボタンは裏に留め具のある簡単につけ替えのできるものになっているため、右前または左前を自分で選択できる。

生地は速乾性に優れ、しわ防止加工、軽量、ストレッチ性の高い最新素材である。また、耐久性、撥水性、消臭性にも優れ、裏地は抗菌、防臭素材となっている。本日校章が決定すれば、ブレザーの左胸ポケットのエンブレムとボタンに校章デザインを取り入れる予定である。

標準服の下衣については、スラックスを2タイプとスカートを選定した。生地は、夏向けに吸水速乾性に優れた特殊繊維と、冬向けに高密度組織を組み合わせた最先端の素材のため、オールシーズン着用可能である。ブレザー同様、家庭でも洗濯ができ、ラインやスカートのひだがとれない加工がされている。また、耐久性にも優れている。

スラックスについては、多様性という観点から、一つは男子用シルエット、もう一つは女子用シルエットとなっており、標準服上下のセットでタイプ1～3までがある。新2年生、新3年生は、タイプ1～3の中からいずれか1タイプを選び、支給を受けることになる。

なお、ネクタイとリボンに関しては、現在も両校で着用しておらず、取扱いも煩雑になることから、新校においても着用しないこととした。

体育着については、3社から計8案の提案を受け、両校校長、保健体育科の教員、PTA役員を交えて検討を行い、2案まで絞った。その後、両校の保健体育科以外の教員からも意見を募り、最終候補1点に絞り込んだ。

体育着は、ジャージ上下、半袖シャツ、クォーターパンツの4点とし、いずれもラインが入っており、ラインの色は現在両校で検討しているところである。

ジャージの上は着脱がしやすい全開ジッパーのジャケットとした。ジャージ上下、クォーターパンツは防風、保温性、耐久性、軽量コンパクトで、速乾性がある。半袖シャツは、白色の薄い生地ではあるが、下着等が透けない生地を採用しており、背中には、校名のプリントを行い、左袖に苗字を漢字で刺繍する。また、ジャージ上下と半袖シャツのラインには、スクールカラーの使用を検討している。

標準服及び体育着の価格については、保護者の経済的負担への考慮や、区内全中学校との均衡を保つことから、標準服は税込4万円前後、体育着は税込1万7,000円から1万9,000円の間で設定した。

委員長

標準服及び体育着については、今報告があった内容で決定したいと思うがよろしいか。

<異議なし>

委員長

それでは、事務局から教育委員会のほうへ報告の手続きをお願いしたい。

議事（２）校章の検討について

委員長

議事（２）校章の検討について、事務局の説明を求める。

事務局

■資料２「校章の検討について」、事務局より説明

前回の協議で絞り込んだ４点について、専門家にデジタル化とアレンジ案の作成を依頼した結果は、資料２の左側のとおりである。また、資料右側には、応募者の作品の説明を掲載している。本日は、デジタル化・アレンジを依頼した作品の計１２点の中から１点を決定していただきたい。また、決定した１点について、修正等が必要かどうか、皆さんでご協議いただきたい。なお、次の統合委員会において、校章デザインの最終決定と校章の由来説明を確認したい。

資料２

令和２年（２０２０年）９月２９日
 第四中学校・第八中学校統合委員会

校章の検討について

<デジタル化・アレンジを依頼した作品>

番号	元デザイン	デジタル化	アレンジ案	
2		①	②	③
3		④	⑤	⑥
4 7		⑦	⑧	⑨
7 3		⑩	⑪	⑫

<候補一覧>

番号	応募作品	作品の説明
2		鷺宮・白鷺・若宮地域は、以前の住所は全て鷺宮であったため、地名の由来となった鷺をイメージしました。羽ばたく鷺の後ろに、朝日と卵をイメージした円を配置しました。
3		ぼくはツルハナナスという花をイメージしてかきました。この花の花言葉は「微笑み」の意味をもちます。四つの地域が家族のように助け合ってほしいと思います。明るい学校になるように花の周りに太陽をかきました。
4 7		漢字の「明」が左側の四角、「和」が右側の四角で立体的にデザインしました。様々なピース（個性、地域やひとりひとりの力）が合わさり、1つになるイメージ。視点を下げ、見上げる構図にすることで、丘の上に建つ校舎、地域のシンボル、存在感を出した。
7 3		星のまわりにMEIWAのMとWを表しました。たくさん星ひとつひとつが光るように、輝く明和中学生になってほしいとの願いを込めました。

<参考：字体のパターン>

①明朝体	②教科書体	③ゴシック体	④丸ゴシック体
明和	明和	明和	明和

※ 応募時の説明では、「笑顔、健康、元気、幸せ、家族など」と記載されていたが、統合委員会ニュースを見た応募者からの申し出により、本来の花言葉である「微笑み」に訂正した。

委員長

今の説明について、意見・質問はあるか。

委員

校名の選定理由と校章の由来説明がかけ離れた内容だと違和感があるので、明和中学校の校名選定理由も踏まえながら選定できたら良いと思う。

委員

この中から選定された校章デザインが標準服のエンブレムにもなるということか。

事務局

今のデザインをそのままエンブレムにすることができるか、または、デザインの一部のみを取り入れた方が良いのか、そこは標準服を作成するメーカーと相談させていただきたい。

委員長

それでは、資料２の校章デザイン候補１２点より、現時点で良いと思うデザインとその理由を１人ずつ述べていただきたい。

委員

私は、⑥のデザインが良いと思う。4つの地域を表す4本の線が良いと思った。

委員

応募者の作品の説明を読んだ時に、3番の説明に非常に感銘を受けた。その中でも、④のデザインが特に良いと思った。

委員

⑤と⑥のデザインで迷っている。花の周りがある太陽と、4つの地域を表す4本の線が良いと思った。また、応募者の作品の説明を読んだ時に、みんなが和やかな気持ちになれるような、柔らかい印象を受けた。

委員 親しむ、好感を持つ

私も⑤と⑥のデザインが良いと思った。地域の方も親しみやすいデザインであることや、応募者の作品の説明が印象に残ったからである。

委員

私は学生時代に詰め襟を着用していたことから、首元につけるバッジをイメージすると、3番のグループと73番のグループが良いと思った。47番のグループが気になるが、デジタル化した時にジュニアハイスクールという文字が外れたことから、デザインとしてのバランスが崩れる気がした。

委員

ブレザーのエンブレムとして考えた時に、2番のグループと47番のグループはイメージしづらいと思った。詰め襟につけるようなバッジであれば、2番のグループと47番のグループでも良いと思った。校章デザインをそのままエンブレムにするのであれば、3番のグループと73番のグループの方がしっくりくる。

委員

校章には、明和の文字がないと、どこの中学校の校章なのかわかりにくいと思った。3番のグループと似たデザインに73番のグループがあるが、デジタル化すると原案よりもトゲトゲした印象を受ける。3番のグループが柔らかい印象があり、良いと思った。

委員

私は⑨のデザインが良いと思った。

委員

これから50年、100年と学校が続いていくことを考えると、①、②、⑨のデザインは新しい時代にぴったりのデザインだと思った。中でも⑨は、応募者の作品の説明に説得力があると感じた。

委員

校名に使用するフォントについては、明朝体とゴシック体とで印象が変わると思った。また、3番のグループの④と⑤は、花の周りがある太陽の三角部分にも違いがあるため、もしこの2つで票が割れた時に、デザインの修正はできるのか気になった。

委員

③とも迷ったが、⑥が良いと思った。⑥は、4本の線は何を意味しているのだろうと疑問を持った時に、「4つの地域が家族のように助けあってほしい」という説明が素敵だと思った。また、デザインも非常に格好よくて大変気に入っている。

委員

⑤と⑪が良いと思った。どちらも応募者の作品の説明に惹かれたが、その中でも特にこの2つのデザインが良いと思った。

委員

私は②と⑤が良いと思った。校名選定理由の中に、「親和と友愛の心」「和やか」「新しい時代を創造」という言葉が入っているため、それらの言葉が連想できるデザインが良いと思った。②は飛翔や飛び立つイメージ、⑤は人との繋がりや柔らかいイメージを感じられて良いと思った。

委員

私は⑤が良いと思ったが、使用するフォント次第でデザインの印象も大きく変わるのではないかと思った。

委員

私は⑥が良いと思う。ぱっと見て明和中学校の校章だとわかることと、校名選定理由とも調和がとれていて良いと思った。

委員

3番のグループと73番のグループで迷ったが、3番のグループのデザインは、応募者の作品の説明に込められた思いが象徴されていて良いと思った。中でも、⑥のデザインが良いと思う。

委員

応募者の作品の説明を読んだ時に、3番のグループが良いと思った。校旗のことを考えると、⑥のデザインが良いと思った。

委員

学校のシンボルとしてだけでなく、校名選定理由も受け継いでいける校章デザインが良いと思った。3番のグループは、ツルハナナスの花をイメージしてデザインされているが、この花が学校の花、ひいては、心豊かな子どもたちを育てていくのにつながっていけばいいなと思った。また、ツルハナナスの花びらの色がスクールカラーになる等、いろいろなわくわく感が出てくるのが3番のグループだと思った。3番のグループの中であれば、④～⑥のいずれでも良いと思う。

また、校名の字体については、資料の下部に4種類の字体が掲載されているが、これからの時代の標準服を考えると、ユニバーサルデザインフォントを合わせてみるのもおもしろいと思う。

委員

ツルハナナスがどんな花なのか調べたところ、青い花であることがわかった。この辺りではあまり見かけない花だが、東京でも育てられるため、校庭にツルハナナスを植生できたらいいなと思った。また、校名選定理由と応募者の作品の説明が重なることから、3番のグループが良いと思った。④～⑥のいずれにするかは、体育館の舞台幕や校旗にした時に一番映えるものであれば良いと思う。

委員

校章をイメージしやすいのは、3番のグループだと思った。④～⑥のいずれかが良いと思う。

事務局

欠席者2名のご意見を申し上げます。1人目のご意見は、「2番のグループは、大和地域の方から見ると、鷺宮のイメージに偏っているように感じるのではないかと。従来の校章のイメージを踏襲すると④や⑩だと思うが、新しい時代の学校ということを考えると、斬新なデザインである②と⑦が良いと思う」とのことである。2人目のご意見は、「プレザーのエンブレムをイメージすると、⑩が良いと思った。①～③は、前回の統合委員会において、大和地区からは鷺を連想しにくいという発言があったこと、数年前に閉園した鷺宮学園幼稚園の園章を思わせることから、候補から外した。④～⑥は、ツルハナナスを明和中の校区では見かけないこと、馴染みがないことから、候補から外した。ただし、明和中において、ツルハナナスを植生させるのであれば、選定しても良いと思う。⑦～⑨は、プレザーのエンブレムをイメージできないことから外した。⑪と⑫は、応募者の作品の説明にある『星の周りにMとWを表しました』という意図が薄れてしまっていることから外した。」とのことである。

委員長

最初に目にとまったのは、3番のグループと73番のグループである。3番のグループの⑥は、三角部分が少し刺々しいと感じたが、白抜きのデザインが斬新で、使い方によってはおもしろいと思う。ただ、校名の字体については、ゴシック以外のものに変更すればもう少し柔らかい印象になるのではないかと。73番のグループは、全体的に角張っているが、白と黒の明暗がおもしろいと思う。総合的に判断すると、⑤または⑥が良いと思った。他の2つのグループを候補から外した理由については、2番のグループは、大和地域から鷺はイメージしづらいということ、47

番のグループは斬新すぎて、校章として使うには難しいと感じたためである。

まずは、2番のグループ、3番のグループ、47番のグループ、73番のグループの4つのグループの中から1グループを決めたいと思うが、よろしいか。

委員

今出ているデザインの中から1点を最終決定をするのではなく、字体や細部の修正については、後ほどできると考えて良いか。

委員長

基本とするデザインが1点に決まった後に、字体を他のものに変更したいというご意見であれば、調整することはできる。まずは、グループごとに投票することとしたいが、よろしいか。

<異議なし>

<投票・集計>

委員長

それでは、投票結果を発表する。2番のグループが1票、3番のグループが19票、47番のグループが2票、73番のグループが1票である。まずは、投票数が最も多い3番のグループを選定したいと思うが、よろしいか。

<異議なし>

委員長

それでは、3番のグループのうち、④～⑥のいずれか1つを選んでいただきたいと思いますと思うが、よろしいか。

委員

今回の投票で選定されたデザインについて、字体の変更や、細部の修正等をする場合、今後どのようにやるのか。

事務局

本日、皆さんからいただいたご意見・ご要望をできるだけ反映した上で、次回の統合委員会で最終決定したい。

委員

「④のデザインで校名の字体は丸ゴシックが良い」「⑥の校名の字体で、花の周りの太陽は角が丸い方が良い」等という意見も出ると思う。④～⑥を選ぶ際、どういう基準で選んだら良いか。

事務局

校名の字体を除いたデザインの部分については、④～⑥でそれぞれ細かい違いがあると思う。校名の字体については後ほど協議することとし、まずは、どのデザインが良いかを選んでいただきたい。

委員

まずは、花の周りの太陽について、角が丸まった④の方が良いのか、原案に近い尖ったデザインの⑤が良いのか、意見を集約すれば良いと思う。

委員長

デザインの全体的な雰囲気が出てきていることから、まずは、④または⑤のいずれかを挙手により選んでいただきたい。⑥については、後ほど協議したい。

<投票・集計>

委員長

④が5人、⑤が14人であるため、まずは④を除外する。次に、⑤と⑥について挙手により選んでいただきたい。

委員

第四中の校章には色が入っていたと思うが、明和中学校の校章には色は入らないのか。

事務局

これまでの統合校の校章には、色をつけていない。

委員

先ほど、委員からスクールカラーの話が出たが、例えば、花びらの部分にツルハナナスの花の色を入れるということになれば、その色もデザインを選定する上で重要になってくると思う。

事務局

刺繍校旗については、土台となる生地色を決めた後、金糸と銀糸で校章を刺繍するため、生地色を含め3色使用することになる。仮に、ツルハナナスの花の色をスクールカラーとして採用した場合、生地色をスクールカラーにして、金糸と銀糸で校章を刺繍していく形になるかと思う。

委員

統合委員会の協議においては、白黒の校章デザインから選定するというのか。また、エンブレム等に校章を使用するにあたって、校章に色をつける場合、その色は学校に一任するというのか。

事務局

そうである。

委員長

その場合、⑥についてはどうなるか。

事務局

刺繍校旗を制作する際、おそらく白抜きになっている部分が生地の色になると思う。金糸と銀糸の使い方については、刺繍校旗の制作者がどのようにイメージするかによると思う。

委員長

⑥のような白抜きの校章デザインを使用している学校は他にあるか。

委員

南中野中の校章は、白い部分の面積が多く、⑥の校章デザインの系統に近いと思う。

委員長

先ほど、④と⑤で多数決をとった結果、太陽の部分の角が丸い⑤が選ばれた。④と同様に、⑥も太陽の部分の角が尖っているが、皆さんは角が丸い方と尖っている方とどちらが良いか。

委員

⑥の太陽の部分の角は、尖っているというよりも、光り輝いているイメージがして良いと思った。校旗等に使用する時に色がつくことを考えれば、尖っていても良いと思う。

委員

校旗を作る際に、校章の白抜き部分を金糸や銀糸で表現することは可能なのか。

委員

ブレザーのエンブレムにある校章デザインは白っぽい刺繍であるが、それを金糸・銀糸に置き換えてイメージしてみるのはいかがでしょうか。デザインのどの部分に金糸・銀糸を使うのか、各自でイメージを膨らませながら、⑤または⑥のどちらを選定すれば良いと思う。

委員

なるべく作者のオリジナリティを生かしたいため、白抜きのデザインが良いと思う。

委員長

今、委員から意見が出たように、⑥のデザインをエンブレムにした場合、デザインの白抜き部分には金・銀以外の好きな色を使うことができると思う。ただ、校旗や体育館の舞台幕にある校章は、一般的に金糸と銀糸を使用するため、色の載せ方は決まってしまうと思う。

委員

このまま話していても、協議は平行線のままだと思う。全員が同じイメージを共有できるように、背景が黒色と白色の2パターン、太陽の部分が尖っているものと尖っていないものの2パターンをそれぞれ作ってもらい、次回の統合委員会において引き続き検討した方がいいのではないか。

事務局

次回の統合委員会で最終決定していただきたいため、字体の変更や、その他の細部の修正等はできなくなることをご了承いただければ、そのやり方も可能である。

委員長

あわせて字体のパターンもいくつか作ってもらいたい。

事務局

⑤と⑥のデザインをベースに、資料2の下部にある4種類の字体とユニバーサルフォントの計5種類をそれぞれ作成してもらうということか。

委員

少し多いが、頭でイメージするよりも実際に見てみた方が決めやすいと思う。

委員

可能であればカラーで出していただいた方が、もっとイメージが湧きやすいと思う。

委員

標準服のエンブレムに校章デザインが刺繍される際のことをイメージしやすいように、背景の色を黒色にしたデザインもあれば良いと思う。

背景の色が白色の場合と黒色の場合の2パターンについて、5種類の字体をあてはめると、計20点のデザインが出てくると思う。その20点を比較しながら協議した方がイメージしやすいのではないか。

委員長

次回の統合委員会では、修正の希望は受けないこととし、20点の中から1点を最終決定することにしたいと思うが、よろしいか。

委員

背景色を黒色にしたものは、あくまでも参考資料のため、選定の対象とはしない。校旗や標準服のエンブレム等、地の色が白色以外の時に、校章デザインがどう見えるかをイメージしやすくするための参考資料としたい。

委員

⑥のデザインについては、太陽の部分の角を尖ったままにするか、角を丸くするのか、確認しておきたい。

委員長

今、委員から出た意見について、太陽の部分の角を尖ったままにするか、角を丸くするのか、どちらかに挙手にて投票願いたい。

<投票・集計>

委員長

投票の結果、太陽の部分の角は尖ったままにしたいと思う。

次回の統合委員会において、1点を最終決定したいと思うが、よろしいか。

委員

先ほど他の委員が発言されたスクールカラーについては、どの段階で誰が決めるのか。

事務局

学校からは、体育着のライン等にもスクールカラーの使用を考えていると聞いている。そのため、スクールカラーについては、統合委員会で出たご意見も参考に、学校に一任いただきたい。

議事(3)その他

委員長

それでは、次回の統合委員会の日程について、事務局より説明を求める。

事務局

次回は、10月28日(水)の午後6時半から鷺宮区民活動センターで開催する。

委員長

本日の統合委員会はこれをもって終了する。